

第2次
あま市男女共同参画プラン

令和4年度特別事業評価シート

令和5年6月
あま市

男女共同参画プラン 特別評価対象事業一覧

基本 目標	基本 方針	事業 番号	事業(取組)名	担当課
1	1	5	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催	人権推進課
		8	男性全般を対象とした参加型講座の開催	生涯学習課
	2	25	スクールカウンセラーや心の相談員の配置	学校教育課
	3	31	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施	学校教育課
2	4	49	審議会、委員会への女性の登用促進	関係各課
		51	女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実施や女性リーダーの育成	人事秘書課
	5	56	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	企画政策課
		57	社会教育活動を担う女性団体への支援	生涯学習課
	6	59	休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知	商工観光課
		65	集団保育が可能な障がい児保育の実施	保育課
		66	病児病後児保育の実施	保育課
		68	ファミリー・サポート・センター事業の実施	子ども福祉課
		70	放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施	障がい福祉課
	7	76	交流の場である「ふれあいカフェ(認知症カフェ)」の開催	高齢福祉課
80		女性の再就職のためのセミナー等の情報提供	人権推進課	
3	8	88	シルバーカレッジ(市内在住または在勤の60歳以上の方を対象)、シルバーカレッジOB会(シルバーカレッジ卒業生を対象)の開催	生涯学習課
		89	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施	スポーツ課
		117	スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供	スポーツ課
		130	生活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施	子ども福祉課
		138	性的マイノリティ(LGBT等)の人権に関する講座の開催や、啓発物の配布	人権推進課
	9	145	複合的な課題やニーズに対応するための重層的支援体制の整備	関係各課
	10	158	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施	健康推進課
	11	171	市の防災会議への女性の登用	危機管理課
172		ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進	人権推進課	
4	12	176	女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日~25日)について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施	人権推進課
		184	地域防犯灯の設置支援	危機管理課
	14	197	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児全戸訪問)の実施	健康推進課
		198	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催	健康推進課

計 28

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	5	事業名	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催	担当課	人権推進課						
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革			基本方針 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発							
	施策②男女共同参画に関する理解を深めるための意識啓発と情報の提供										
施策概要	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等を開催する。 (男女共同参画講演会、男女共同参画週間パネル展、男女共同参画セミナー、男女共同参画職員研修)										
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針											
①計画		②達成度	③実績		④方針						
男女共同参画映画上映会 開催日 令和4年6月11日(土) 場所 美和文化会館 大ホール 内容 映画「ミッション・マンガル」を通して女性の理系分野への参画を考える 講師 岡田 亜弥氏(名古屋大学大学院) 人数 150人 男女共同参画週間パネル展 開催日 令和4年6月11日(土)～6月29日(水) 場所 美和文化会館 1階ロビー 内容 働き方の国際比較 -日本と世界 ジェンダーの視点から- 男女共同参画セミナー(県共催) 開催日 令和5年2月11日(土) 場所 美和文化会館 多目的ホール 内容 私たちの地域防災・復興-女性の視点から- 講師 荒木 裕子氏(京都府立大学) 人数 50人 男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部男女共同参画部会員 34人 開催日、内容 ①令和4年9月 男女共同参画 ②令和5年3月 ハラスメント		A:8割以上	男女共同参画映画上映会 開催日 令和4年6月11日(土) 場所 美和文化会館 大ホール 内容 映画「ミッション・マンガル」を通して女性の理系分野への参画を考える 講師 岡田 亜弥氏(名古屋大学大学院) 人数 32人 男女共同参画週間パネル展 開催日 令和4年6月11日(土)～6月29日(水) 場所 美和文化会館 1階ロビー 内容 働き方の国際比較 -日本と世界 ジェンダーの視点から- 男女共同参画セミナー(県共催) 開催日 令和5年2月11日(土) 場所 七宝焼アートヴィレッジ 交流ホール 内容 巨大地震!その時の行動と今日からの備え 講師 荒木 裕子氏(京都府立大学) 人数 47人 男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部男女共同参画部会員 34人 開催日、内容 ①令和4年10月11日(火)「男女共同参画で社会・組織を活性化～性別によらず全ての人が輝く社会をめざして～」 ②令和5年3月10日(金)「働く環境とハラスメント」		継続						
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)											
映画上映会：広報が不足し参加者が少数だった。解説と感想シェアタイムを交えた企画で参加者には好評であった。 県共催セミナー：内容が計画時よりも一般化した(災害時の女性の困りごとを扱う要素が減少した)。ワークショップ形式を取り入れ、男女で交流できた。											
【参考指標】			【予算/実績】								
① 催事に参加した市民の満足度(アンケート結果)「非常に満足」または「満足」の割合			講演会、パネル展、セミナー、職員研修にかかる報償費、需用費、委託料等								
② 職員研修参加者の満足度(アンケート結果)「非常に有効」または「有効」の割合											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	82.5%					予算(千円)	401	66			
②	96.7%					実績(千円)	232				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○)											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。					○						
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					○						
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					○						
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。					○						
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					○						
5点											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	5	事業名	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催	担当課	人権推進課
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革		基本方針 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発		
	施策②男女共同参画に関する理解を深めるための意識啓発と情報の提供				
施策概要	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等を開催する。 (男女共同参画講演会、男女共同参画週間パネル展、男女共同参画セミナー、男女共同参画職員研修)				
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	8	事業名	男性全般を対象とした参加型講座の開催					担当課	生涯学習課				
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革					基本方針 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発							
施策概要	生涯学習講座の1コマとして、男性全般を対象とした参加型講座を開催する。												
【1】事業実績評価												① 4年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 5年度計画方針	
① 計画				② 達成度		③ 実績					④ 方針		
生涯学習講座において、男性全般を対象とした参加型講座「DIY講座」を開催する。 開催日：10月23日・30日、11月13日・20日・27日（日） 場 所：甚目寺公民館 研修室 時 間：午前10時から正午 定 員：20人				B:4～7割		生涯学習講座において、男性全般を対象とした参加型講座「DIY講座」を開催した。 開催日：10月23日・30日、11月13日・20日・27日（日） 場 所：甚目寺公民館 研修室 時 間：午前10時から正午 参 加：11人					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）													
男性向けの講座として実施したが、対象を一般としたところ11名の受講者のうち男性は1名、女性が10名となった。男性向けの募集の方法を再検討する必要がある。													
【参考指標】						【予算／実績】							
① 講座回数						講師謝礼							
② 定員に対する参加率													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	5回	5回				予算（千円）	350	350					
②	55.0%					実績（千円）	350						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○			
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○			
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○			
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○			
4点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	25	事業名	スクールカウンセラーや心の相談員の配置					担当課	学校教育課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革					基本方針 2 子どもにとっての男女共同参画						
施策概要	学校支援会議を開き、スクールカウンセラー・相談員（市雇用）を派遣する。											
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針												
①計画			②達成度			③実績					④方針	
校長からの要請があり、緊急ケース会議が開かれることとなった場合で、希望があって調整がつけば教育相談センターの心理支援相談員及びスクールカウンセラーも会議に参加する。			C:3割以下			校長からの要請がなく、心理支援相談員が参加した緊急ケース会議は無かった。					継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
家庭へ積極的に働きかけるため、スクールソーシャルワーカーを新たに配置する必要がある。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 心理支援相談員数						教育相談支援費						
② 心理支援相談員が緊急ケース会議に参加した回数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	3人					予算（千円）	6,013	5,659				
②	0回					実績（千円）	5,448					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○	
4点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	31	事業名	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施					担当課	学校教育課				
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革					基本方針 3 男女平等意識を育てる教育・学習の充実							
施策概要	総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施する。												
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針													
①計画				②達成度		③実績					④方針		
総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施する。				A:8割以上		小学校12校中学校5校すべての学校で人権や男女平等をテーマにした学習を実施した。 各教科において、「人権尊重の教育の視点」を取り入れた授業を実践した。 道徳では、人との関わりにおいて思いやりの心を育てた。 総合的な活動では、体験的に地域の自然、人々や文化などと関わることで人権意識を育てている。 特別活動では、小学校においては異年齢集団活動を通して、自分を認め、互いの立場や考えを尊重できる場を設定した。 ハッピートークを始めたとした出前授業や「しっぴータイム」といった学校の独自の取り組みにより、自己肯定感を高めたり、社会のあらゆる差別・偏見をなくしたりするために人権意識を高める教育活動を行った。					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）													
【参考指標】						【予算／実績】							
① 実施学校数						(当該事業にかかる予算特定不能)							
②													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	17校					予算(千円)							
②						実績(千円)							
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○		
4点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	49	事業名	審議会、委員会への女性の登用促進					担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 4 政策決定過程への女性の参画の拡大						
施策概要	あま市の審議会、委員会への女性登用率の目標を「第2次あま市男女共同参画プラン」において令和13年度までに30%に定め、審議会等の委員の選出時に女性を積極的に登用する。											
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
審議会等の委員の選出時に女性を積極的に登用するよう働きかける。				B:4~7割		審議会、委員会等の委員の選出時に女性を積極的に登用するよう、人権施策推進本部会議で啓発した。 充て職の委員を組織の長に限らず代表者を登用する取組をした。(男女共同参画審議会)				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点 (自由記入)												
市幹部を集め、直接働きかけることができた。今後は口頭だけではなく文書で啓発し、組織全体で確実に意識を共有する必要がある。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 審議会等 (地方自治法第202条の3) への女性の登用率						予算を伴わない						
② 啓発回数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	27.2%					予算 (千円)						
②	1回					実績 (千円)						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価 (該当する項目に○)												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画 (他部署との連携協力を含む) した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫 (情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等) をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
4点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	51	事業名	女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション（積極的改善措置）の実施や女性リーダーの育成					担当課	人事秘書課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 4 政策決定過程への女性の参画の拡大						
施策概要	市役所の女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクションの実施											
【1】事業実績評価 ① 4 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 5 年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績					④方針	
女性職員の能力や適性を考慮し、管理職に登用する。				A:8割以上		新たに女性職員 1 人を課長に登用した。 新たに女性職員 1 人を統括主幹に登用した。 新たに女性職員 3 人を管理職（主幹 1 人、園長 2 人）に登用した。					継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
女性職員の能力や適性を考慮し、積極的に管理職に登用するにあたり、一般事務職の女性職員の割合が少ないため、女性の管理職候補者が少ないことが課題。今後長期的な視点で改善を図る必要がある。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 一般行政職主査級担当職以上に占める女性職員の割合						予算を伴わない						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	38.2%	39.4%				予算（千円）						
②						実績（千円）						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。												
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○	
3点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	56	事業名	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	担当課	企画政策課						
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進		基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大								
施策概要	施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実 地域で活動する市民活動団体の拠点となる施設「あま市市民活動センター」を中心として、市民活動に関する情報、団体等の連携・交流の場の提供を行うとともに、「市民活動祭」を始めとした交流事業を通じて、地域活動団体及び市民活動団体の活動状況を広く周知し、参加した市民や団体の交流の場を提供する。										
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針											
①計画		②達成度	③実績		④方針						
●市民活動に関する情報提供（各種SNSで発信） ●登録団体からの情報収集 市民活動に関する情報の収集 ●市民活動団体の運営相談 市民活動に関する相談 ●市民活動祭の開催		A:8割以上	●市民活動に関する情報提供（SNS投稿件数） Facebook 84件 Instagram 76件 公式LINE 56件 メールマガジン 24件 ボランティア募集メール 10件 合計250件 ●登録団体からの情報収集件数 口頭、チラシ、電話、メール、等 合計252件 ●市民活動団体の運営相談 合計226件 ●市民活動祭の開催 テーマ 「笑顔につながる一歩」 ～まちのために一歩を踏み出す一日に！～ 日時 令和4年10月22日（土）10：00～15：00 場所 基目寺総合体育館 内容 ①市民活動センター・社会福祉協議会の紹介コーナー ②ブース出展／登録団体による活動のPR マルシェ・商工会事業者による物販等 ③ミニ講座／登録団体による市民対象の講座 ④ステージ（登録団体による踊り、体操、神楽太鼓の演奏等） ⑤ボランティア情報コーナー・マッチングコーナー ⑥市民参加型プログラム 「大好き！あま市」コンテスト／来場者による投票実施 ⑦みんなで遊ぼうコーナー 登録団体による子どもも大人も楽しめるゲーム等 ⑧その他（コミュニティ協議会照会コーナー等） 総参加者数 約 2,400 名 （一般来場者、プログラム参加団体関係者、 中高生ボランティア、一般ボランティア、スタッフ他含む）		継続						
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
成功した点 3年ぶりの開催となる大規模イベント『市民活動祭』について、過去最高の来場者数があり、市民活動・ボランティアの普及啓発に寄与した。 改善した点 紙媒体のみではなく、各種SNS媒体で継続的に情報を発信することにより、若年層への周知ができ、新規の登録団体が増加した。											
【参考指標】			【予算／実績】								
① 市民活動祭の一般参加者による日頃ボランティアに参加しているかの数値			市民活動センター事業費および市民活動祭運営費								
② 市民活動祭の一般参加者による参加希望活動があったかどうかの数値											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	30.0%					予算（千円）	12,228	12,416			
②	25.0%					実績（千円）	12,227				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。					○						
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					○						
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					○						
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。					○						
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					○						
					5点						

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	56	事業名	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	担当課	企画政策課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進		基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大		
施策概要	施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実 地域で活動する市民活動団体の拠点となる施設「あま市市民活動センター」を中心として、市民活動に関する情報、団体等の連携・交流の場の提供を行うとともに、「市民活動祭」を始めとした交流事業を通じて、地域活動団体及び市民活動団体の活動状況を広く周知し、参加した市民や団体の交流の場を提供する。				
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	57	事業名	社会教育活動を担う女性団体への支援					担当課	生涯学習課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大							
施策概要	施策⑩男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実												
施策概要	あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図る。												
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針													
①計画				②達成度		③実績					④方針		
あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図る。 夏祭り盆踊り練習会 開催日 7月2日(土) 場 所 甚目寺公民館 講義室 主催講座「親子でクッキー作り」 開催日 7月30日・8月6日(土) 場 所 コミュニティプラザ萱津 主催講座「干支の木目込人形作り」 開催日 11月15日・22日(火) 場 所 甚目寺公民館 研修室 主催交流イベント 開催日 令和5年2月 場 所 甚目寺公民館				A:8割以上		あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図った。 盆踊り練習会 開催日：7月2日(土) 午後1時～午後3時30分 場 所：甚目寺公民館 講義室1・2 ゴキブリ団子作り 開催日：5月～6月 場 所：各地区 主催講座「親子でクッキー作りを楽しみましょう」 開催日：7月30日(土)、8月6日(土) 午前10時～正午 場 所：コミュニティプラザ萱津 主催講座「干支の木目込人形作り」 開催日：11月15・22日(火) 午前9時30分～正午 場 所：甚目寺公民館 研修室 チャリティーバザー 開催日：11月20日(日) 午後1時～3時 場 所：甚目寺公民館 大ホールホワイエ 主催講座「オリジナルオカリナを作って演奏しよう！」 開催日：令和5年1月11日・25日(水)、2月8日					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)													
事業参加者が増加したことにより会員数は増加したが、会員全体の高齢化が課題である。													
【参考指標】						【予算／実績】							
① あま市女性の会が主催する事業数						講師謝礼、施設使用料、消耗品							
② 会員数													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	6事業	7事業				予算(千円)	200	200					
②	103人					実績(千円)	129						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○)													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。											○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。													
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○		
3点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	59	事業名	休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知					担当課	商工観光課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組							
施策概要	施策⑬ワーク・ライフ・バランスの普及啓発												
施策概要	広報、市公式ウェブサイト等による情報提供を実施する												
【1】事業実績評価												① 4 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 5 年度計画方針	
①計画				②達成度		③実績					④方針		
国、県または関係団体から休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度周知依頼に応じ適宜周知を行う				A:8割以上		愛知県労働福祉課からの依頼を受けて令和4年11月号広報に「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動 第1回タウンミーティング」を掲載した。					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）													
現状で国、県、関係団体等からの情報提供について、広報または公式ウェブサイトにて市民に周知を行っているが、担当課として自発的な事業実施には至っていない。													
【参考指標】						【予算／実績】							
① 国・県または関係団体からの依頼数						情報提供にかかる費用							
②													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	1件					予算（千円）	0	0					
②						実績（千円）	0						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。													
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。													
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○		
											2点		
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	65	事業名	集団保育が可能な障がい児保育の実施					担当課	保育課					
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組								
施策概要	施策⑭多様な保育サービスの充実													
施策概要	軽・中程度の集団保育が可能な障がい児及び食物アレルギーのある児童の保育を実施する。													
【1】事業実績評価												① 4年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 5年度計画方針		
① 計画				② 達成度			③ 実績					④ 方針		
【対象施設】 ○ 公立保育園：9園 ○ 私立認定こども園：3園 【主な取り組み】 ○「あま市療育等連絡会議」の開催 全7回 ・療育に関する研修 日 時：8月19日（金）午後2時より 場 所：甚目寺公民館2階 講義室 参加者：連絡会議関係職員全員 ・ケース検討及び情報交換 ○「あま市障がい児等保育実施委員会」の開催 全4回 ・事業報告、次年度事業計画について ・在園児、入園申込児の処遇審査について ○私立認定こども園に対する経費の補助の実施				A:8割以上			【実施施設】 ○ 公立保育園：9園 ○ 私立認定こども園：3園 【対象児童数（令和5年3月現在）】 ○ 公立保育園：102人 ○ 私立認定こども園：45人 【実施内容】 ○「あま市療育等連絡会議」の開催 全7回 ・事業計画、実施報告等について ・ケース検討及び情報交換について ・療育研修会の開催 日時：8月10日（水）午後2時より 場所：甚目寺公民館 講義室 議題：「子どもの姿を家族に伝える悩み」 講師：藤林 清仁氏 （同朋大学社会福祉学部社会福祉学科准教授） 人数：38名 ○「あま市障がい児等保育実施委員会」の開催 全4回 ・事業報告、次年度事業計画について ・在園児、入園申込児の処遇審査について ○私立認定こども園に対する経費の補助の実施					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）														
職員を対象とした療育研修の開催にあたり、実際に保育現場において障がい児保育や保護者対応に対し困っていることを各園から挙げてもらい、事前に講師と打ち合わせをする時間を設けたことで具体的な事例を交えての講演で、抱えている悩みや不安の解消に結び付きより充実した研修とすることが出来た。														
【参考指標】						【予算／実績】								
① 児童数						障がい児等保育事業費補助金								
② 会議開催数														
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			
①	147人					予算（千円）	10,242	13,590						
②	11回					実績（千円）	15,222							
【2】事業配慮度評価												男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）		
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○			
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○			
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。														
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○			
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○			
												4点		
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント														

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	66	事業名	病児病後児保育の実施	担当課	保育課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進		基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組		
施策概要	施策⑭多様な保育サービスの充実 保護者の就労等のために家庭で保育等ができない児童で病気または病気の回復期にあり、集団での保育等が困難な児童を一時的に預かる。				

【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針

①計画	②達成度	③実績	④方針
【実施場所（市内2か所）】 ○あま市民病院内（定員3人） ○ふたば病児保育室（定員6人） 【取り組み】 ○研修会への参加（ふたば病児保育室） ・会期：7月17日(日)～7月18日(月・祝)（オンラインでの参加） ○周知啓発活動（あま市民病院内） ・時 期：4月及び7月～9月 ・場 所：市立保育園及び子育て支援センター ・内 容：ペープサートを用いた劇による啓発等 ・対象者：園児、親子	A:8割以上	【登録者数】 154人（内、男児82人 女児72人） 【利用者数】 ○あま市民病院内 15人（内、男児3人 女児12人） ○ふたば病児保育室 472人（内、男児278人 女児194人） 【実施内容】 ○研修会への参加（ふたば病児保育室） 「第32回全国病児保育研究大会inちば」 ・会期：7月17日(日)～7月18日(月・祝) ・主催：一般社団法人全国病児保育協議会 ・会場：幕張メッセ国際会議場（オンライン参加） ・内容：特別講演・教育講演・会長講演等 ・参加人数：院長、医師、保育士 計5名 ○周知啓発活動（あま市民病院内） ・実施日：4月8日（金） ・場 所：甚目寺子育て支援センター ・内 容：事業に関する周知・啓発等 ・対象者：支援センター利用の親子 ○啓発活動 ・実施日：7月6日（水）、11日（月）、15日（金） ・場 所：あま市立篠田保育園 ・実施日：7月29日（金）、8月4日（木） ・場 所：あま市立正則保育園	継続

成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）

あま市民病院内の利用者が少なく大幅な偏りが生じており、その要因を把握する必要がある。

【参考指標】						【予算／実績】					
① 定員数						病児病後児保育事業費					
② 年間利用者数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	9人					予算（千円）	20,649	22,328			
②	487人					実績（千円）	18,396				

【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）

1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。	○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。	○
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。	○
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。	○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。	○
4点	

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	66	事業名	病児病後児保育の実施	担当課	保育課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進		基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組		
	施策⑭多様な保育サービスの充実				
施策概要	保護者の就労等のために家庭で保育等ができない児童で病気または病気の回復期にあり、集団での保育等が困難な児童を一時的に預かる。				
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	68	事業名	ファミリー・サポート・センター事業の実施					担当課	子ども福祉課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組							
施策概要	ファミリー・サポート・センター事業の会員が安心して相互援助を行えるよう、会員を対象に育児に関する知識・技術を身につけるための研修会・会報誌の発行等を実施する。												
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針													
①計画					②達成度		③実績					④方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・会員数1,024人 (あま市749人、大治町275人) ・活動件数2,221件 (あま市1,699件、大治町522件、内両住民による援助活動件数274件) ・援助会員養成講座10回 ・依頼会員登録説明会12回 ・活動報告・スキルアップ研修2回 ・交流会1回 ・情報交換会1回 ・会報誌発行2回 ・インスタグラムも活用しPRをする。 					A:8割以上		<ul style="list-style-type: none"> ・会員数1,024人 (あま市749人、大治町275人) ・活動件数2,221件 (あま市1,699件、大治町522件、内両住民による援助活動件数274件) ・援助会員養成講座10回 ・依頼会員登録説明会12回 ・活動報告・スキルアップ研修2回 ・交流会1回 ・情報交換会1回 ・会報誌発行2回 ・インスタグラムも活用しPRをした。 					継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）													
【参考指標】						【予算／実績】							
① 会員数						委託料							
② 活動件数													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	749人					予算(千円)	8,647	9,165					
②	2,221件					実績(千円)	8,517						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○			
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○			
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○			
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○			
4点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	70	事業名	放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施					担当課	障がい福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組						
施策概要	施策⑰ 障がいのある子どもへのサービスの充実 平日の放課後や休日、夏季休業期間など就学時間外に支援が必要な就学児の居場所の確保する。 ・放課後等デイサービス ・日中一時支援事業											
【1】事業実績評価												
① 4 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 5 年度計画方針												
①計画			②達成度		③実績					④方針		
就学時間外に支援が必要な就学児に、放課後等デイサービス及び日中一時支援事業の利用を勧める。			A:8割以上		放課後等デイサービス 年間延べ利用人数 4,357人 年間延べ利用日数 45,130日 年間給付額 466,784,645円 日中一時支援事業 年間延べ利用人数 1,136人 年間延べ利用日数 9,304日 年間給付額 49,602,992円					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 放課後等デイサービス年間延べ利用人数						扶助費						
② 日中一時支援事業年間延べ利用人数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	4,357 人					予算（千円）	530,636	583,096				
②	1,136 人					実績（千円）	516,387					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
4点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	76	事業名	交流の場である「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」の開催	担当課	高齢福祉課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進		基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組		
施策概要	施策⑱介護者への支援の充実 認知症の人やその家族が地域の人や認知症サポーター等認知症の正しい知識を持った者と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場である認知症カフェ（あま市においては「ふれあいカフェ」と称する）を市内で開催する。				
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針					
①計画		②達成度	③実績		④方針
①ふれあいカフェ美和 場 所：グループホーム第2 あま恵寿荘 開催日：毎月第2火曜日 時 間：10時～11時30分 ②ふれあいカフェ甚目寺 場 所：甚目寺総合福祉会館 開催日：毎月第2火曜日 時 間：10時～11時30分 ③ふれあいカフェあまちゃん中萱津 場 所：コミュニティプラザ萱津 開催日：毎月第4日曜日 時 間：13時30分～15時30分 ④伊福ふれあいカフェ 場 所：伊福地区集会所 開催日：毎月最終日曜日 時 間：10時～11時30分 ⑤ふれあいカフェあまちゃん下萱津 場 所：下萱津コミュニティ防災センター 開催日：毎月第4月曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑥ふれあいカフェあまちゃん甚目寺公民館 場 所：甚目寺公民館 開催日：毎月第2火曜日 時 間：13時30～15時30分 ⑦ふれあいカフェJAなの花の会甚目寺 場 所：JA甚目寺 開催日：毎月第1金曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑧ふれあいカフェJAなの花の会美和 場 所：JA美和 開催日：偶数月第2月曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑨新居屋ふれあいカフェ 場 所：新居屋憩の家 開催日：毎月第3月曜日 時 間：10時～11時30分 ⑩ご近所カフェポップ 場 所：グループホームポプラ 開催日：毎月第2土曜日 時 間：10時～12時		A:8割以上	①8月、9月以外開催 延べ104人参加 ②8月、9月以外開催 延べ131人参加 ③8月、9月以外開催 延べ156人参加 ④7月、8月、9月以外開催 延べ292人参加 ⑤8月、9月以外開催 延べ157人参加 ⑥9月以外開催 延べ138人参加 ⑦9月以外開催 延べ164人参加 ⑧全日程開催 延べ148人参加 ⑨8月、9月以外開催 延べ149人参加 ⑩8月、9月以外開催 延べ147人参加 ⑪民間のカフェに場所を借りて2月に開催 8人参加		継続

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	76	事業名	交流の場である「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」の開催					担当課	高齢福祉課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組							
施策概要	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 施策⑩介護者への支援の充実												
施策概要	認知症の人やその家族が地域の人や認知症サポーター等認知症の正しい知識を持った者と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場である認知症カフェ（あま市においては「ふれあいカフェ」と称する）を市内で開催する。												
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）													
感染症対策をしながら前年度より実施回数を増やすことができた。固定のふれあいカフェだけでなく、新しく民間のカフェを借りて実施することもできた。ふれあいカフェを実施する場所の確保に課題がある。													
【参考指標】						【予算／実績】							
① 開催回数						基幹包括主催カフェ運営費、カフェ運営費補助金							
② ふれあいカフェ運営費補助金申請団体数（予算に対する率）													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	98回					予算（千円）	350	355					
②	80.0%					実績（千円）	173						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○			
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○			
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○			
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○			
4点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	80	事業名	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供	担当課	人権推進課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進		基本方針 7 誰もが働きやすい職場環境づくり		
施策概要	施策⑳男女の平等な雇用に向けた開発、情報提供 女性の再就職のためのセミナー等の情報提供をする。				

【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針			
①計画	②達成度	③実績	④方針
女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口を設置する。	A:8割以上	女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口を設置した。	継続

成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）
 本庁舎（人権推進課、商工観光課）、甚目寺庁舎、公民館3館など、より多くの市民の目に触れるように配慮した。
 令和5年度からは分庁舎が統合されること、行政手続のデジタル化が進展していくため、公共施設に出来ない市民にも情報を届ける工夫が必要。

【参考指標】						【予算／実績】					
① 情報提供回数						啓発活動にかかる消耗品費等					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	3回					予算（千円）	0	0			
②						実績（千円）	0				

【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）	
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。	○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。	○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。	○
	3点

事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	88	事業名	シルバーカレッジ（市内在住または在勤の60歳以上の方を対象）、シルバーカレッジOB会（シルバーカレッジ卒業生を対象）の開催					担当課	生涯学習課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策概要	高齢者の生きがいや健康づくり活動に貢献するとともに、高齢者が本事業を通じて培った知識を生かし、地域発展の一助となるための事業を展開する。											
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針												
①計画					②達成度	③実績					④方針	
市内在住又は在勤の60歳以上の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を図る。 期間 6月から1月まで 講座 20回程度 場所 シルバーカレッジ教室他 定員 36人					A:8割以上	市内在住又は在勤の60歳以上の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を図った。 期間 6月3日（土）から 1月27日（土）まで 講座 全21回 場所 シルバーカレッジ教室他 定員 36人 参加者 29人（うち卒業生：25人）					継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
コロナ禍の影響があったとはいえ、ここ数年は参加率の低下が課題である。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 講座回数						講師謝礼						
② 定員に対する参加率												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	20回	21回				予算（千円）	349	320				
②	80.0%					実績（千円）	308					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○		
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
4点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	89	事業名	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施	担当課	スポーツ課
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進		基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援		
施策概要	施策⑳高齢者の社会参画促進 スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、高齢者の社会参画を促進する。				

【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針			
①計画	②達成度	③実績	④方針
<p>①はつらつ健康教室～シニア運動教室～ 内容 自らの体力・健康を自覚し、自発的な介護予防 開催日 10月6日(木)～12月1日(木) 場所 基日寺総合体育館 メインアリーナ 回数 8回</p> <p>②市民ラジオ体操の集い 内容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月22日(日) 場所 美和中学校 運動場 開催日 6月26日(日) 場所 基日寺総合体育館 野外ステージ 開催日 7月24日(日) 場所 七宝北中学校 運動場</p> <p>③市民体力テスト 内容 市民体力テストを実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月17日(土) 場所 基日寺総合体育館 メインアリーナ</p> <p>④市民歩け歩け会 内容 滋賀県長浜市余呉湖周辺ウォーキングコース(約6km)をウォーキング 開催日 10月23日(日)</p> <p>⑤市民走ろう・歩こう会 内容 木曾三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月22日(日)</p>	B:4～7割	<p>高齢者も比較的無理なく参加できる行事を開催した。 ①はつらつ健康教室～シニア運動教室～ 15人参加 内容 自らの体力・健康を自覚し、自発的な介護予防 開催日 10月6日(木)～12月1日(木) 場所 基日寺総合体育館 メインアリーナ 回数 8回</p> <p>②市民ラジオ体操の集い 409人参加(全体) 内容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月22日(日) 場所 美和中学校 運動場(中止) 開催日 6月26日(日) 場所 基日寺総合体育館 野外ステージ 開催日 7月24日(日) 場所 七宝北中学校 運動場</p> <p>③市民体力テスト 35人参加(全体) 内容 市民体力テストを実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月17日(土) 場所 基日寺総合体育館 メインアリーナ</p> <p>④市民歩け歩け会(中止) 内容 滋賀県長浜市余呉湖周辺ウォーキングコース(約6km)をウォーキング 開催日 10月23日(日)</p> <p>⑤市民走ろう・歩こう会 229人参加(全体) 内容 木曾三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月22日(日)</p>	継続

成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）
令和4年度より、新たに市民の体力・運動能力の現状を明らかにすることで、健康及び体力の保持、増進の意識を高め、継続を促すことを目的とし、市民体力テストを実施した。

【参考指標】	【予算／実績】										
① ラジオ体操の集い参加者数（全体）	報償費、傷害保険料、委託料、車借上料、各種借上料										
② 市民走ろう・歩こう会参加者数（全体）											
		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	409人						予算(千円)	2,005	2,077		
②	229人						実績(千円)				

【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）	
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。	○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。	○
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。	○
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。	○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。	○
4点	

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	89	事業名	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施	担当課	スポーツ課
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進		基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援 施策⑳高齢者の社会参画促進		
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、高齢者の社会参画を促進する。				
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	117	事業名	スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供				担当課	スポーツ課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援					
施策概要	施策⑳障がいのある人の社会生活向上のための取組										
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、障がいのある方の社会参画を促進する。										
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
①各種スポーツ教室 ②市民ラジオ体操の集い 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月22日(日) 場 所 美和中学校 運動場 開催日 6月26日(日) 場 所 基目寺総合体育館 野外ステージ 開催日 7月24日(日) 場 所 七宝北中学校 運動場 ③市民体力テスト 内 容 市民体力テストを実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月17日(土) 場 所 基目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会 内 容 滋賀県長浜市余呉湖周辺ウォーキングコース(約6km) をウォーキング 開催日 10月23日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 内 容 木曾三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月22日(日)				B:4～7割		障がいのある方も比較的無理なく参加できる行事を開催した。 ①各種スポーツ教室 ②市民ラジオ体操の集い 409人参加(全体) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月22日(日) 場 所 美和中学校 運動場(中止) 開催日 6月26日(日) 場 所 基目寺総合体育館 野外ステージ 開催日 7月24日(日) 場 所 七宝北中学校 運動場 ③市民体力テスト 35人参加(全体) 内 容 市民体力テストを実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月17日(土) 場 所 基目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会(中止) 内 容 滋賀県長浜市余呉湖周辺ウォーキングコース(約6km) をウォーキング 開催日 10月23日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 229人参加(全体) 内 容 木曾三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月22日(日)				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点 (自由記入)											
令和4年度より、新たに市民の体力・運動能力の現状を明らかにすることで、健康及び体力の保持、増進の意識を高め、継続を促すことを目的とし、市民体力テストを実施した。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① ラジオ体操の集い参加者数(全体)						報償費、傷害保険料、委託料、車借上料、各種借上料					
② 市民走ろう・歩こう会参加者数(全体)											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	409人					予算(千円)	2,005	2,077			
②	229人					実績(千円)					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○)											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	130	事業名	生活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施					担当課	子ども福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策概要	母子・父子自立支援員がひとり親の自立に向けた、就業・子育てに関する相談・支援をする。											
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施する。				A:8割以上		母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施する。 母子家庭等相談件数 335件 母子家庭等就業相談件数 43件				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 母子家庭等相談件数						母子父子自立支援員配置費						
② 母子家庭等就業相談件数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	335件					予算(千円)	2,441	2,434				
②	43件					実績(千円)	2,435					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
4点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	138	事業名	性的マイノリティ（LGBT等）の人権に関する講座の開催や、啓発物の配布					担当課	人権推進課		
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援					
施策概要	性的指向・性自認（性同一性）の多様性（SOGI）について理解を深めるため、啓発物の配布や、講座を開催する。										
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績					④方針
啓発パンフレットを各施設の窓口に配置 ・啓発パンフレットを配布 ・市民人権講座 内 容：性的マイノリティの人権 開催日：令和4年8月24日（水） 場 所：あま市人権ふれあいセンター 定 員：未定				A:8割以上		・啓発パンフレットを各施設の窓口に配置 ・啓発パンフレットを配布 ・市民人権講座 内 容：性的マイノリティの人権 開催日：令和4年8月24日（水） 場 所：あま市人権ふれあいセンター 参 加：29人					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入） 令和4年度は、年3回の市民人権講座のうちの1回を「性的マイノリティの人権」をテーマに開催して市民の理解を深めることができた。数ある人権のテーマのすべてを毎年講座のテーマとして扱うことはできないため、長期的な期間の中で断続的に啓発する必要がある。											
【参考指標】						【予算／実績】					
①情報提供および講座開催回数						市民向け啓発催事の報償費					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4回					予算（千円）	20	0			
②						実績（千円）	20				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
3点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	145	事業名	複合的な課題やニーズに対応するための重層的支援体制の整備					担当課	社会福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針 9 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援						
施策概要	地域住民やその世帯の複雑化・複合化した地域生活課題や支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施する。											
① 4 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 5 年度計画方針												
①計画			②達成度		③実績					④方針		
重層的支援体制整備事業の実施に向けて体制を整える。			C:3割以下		4 年度は体制整備は進められていない。 重層的支援体制整備事業への移行準備事業を令和 6 年度、重層的支援体制整備事業を令和 7 年度の実施に向けて検討中である。 実施に向けて県主催の研修案内等について回覧し、情報共有を行った。					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
関係各課で調整を行い、重層的支援体制整備事業が実施できるように体制を整える。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 多機関協働の支援に至った相談件数												
② 事務調整会議（仮称）と重層的支援会議（仮称）の開催回数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	0件					予算（千円）	0	0				
②	0回					実績（千円）	0					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											点	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。												
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	158	事業名	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施					担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針10 生涯を通じた女性のこころとからだの健康支援						
施策概要	施策⑳母子保健事業の充実 出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施する。											
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績					④方針	
支援の必要な妊婦についての妊婦訪問を随時実施する。コーディネーター、地区担当保健師や助産師訪問を（産前産後サポート事業）実施する。				A:8割以上		こんにちは赤ちゃん訪問事業について、令和4年度の対象者570人のうち、569件（内、委託63件）実施。また、他市町村の依頼によりあま市に里帰りしている市外在住の母子について、11件こんにちは赤ちゃん訪問を実施した。訪問時、産婦に児童虐待防止リーフレット（愛知県発行）を配布し、虐待予防について説明した。					継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
こんにちは赤ちゃん訪問実施件数						委託料						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	569件					予算（千円）	640	564				
②						実績（千円）	312					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
3点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	171	事業名	市の防災会議への女性の登用					担当課	危機管理課				
プランにおける位置づけ	基本目標3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進					基本方針11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進							
施策概要	防災分野において、男女のニーズの違いなど、男女の視点に配慮した防災活動を進める。防災会議で災害時における女性目線での意見を求める。												
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針													
①計画				②達成度		③実績					④方針		
防災会議1回開催 女性委員5人				A:8割以上		防災会議1回開催 令和5年2月22日(水) 女性委員4人					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点 (自由記入)													
【参考指標】						【予算/実績】							
① 委員の構成比率 女性/全体 (人)						予算を伴わない							
②													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	4/24					予算(千円)	/	/	/	/	/		
②						実績(千円)	/	/	/	/	/		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価 (該当する項目に○)													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画 (他部署との連携協力を含む) した。													
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫 (情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等) をした。													
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○		
2点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	172	事業名	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進	担当課	人権推進課						
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進		基本方針11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進								
施策概要	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発や、連携体制をつくる。										
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針											
①計画		②達成度	③実績		④方針						
男女共同参画セミナー（県共催） 開催日 令和5年2月11日（土） 場 所 美和文化会館 多目的ホール 内 容 私たちの地域防災・復興－女性の視点から－ 講 師 荒木 裕子（京都府立大学） 定 員 50人 ・家事等実践講座 開催日 令和4年9月 場 所 美和公民館 調理室 内 容 防災クッキング 定 員 36人		A:8割以上	・男女共同参画セミナー（県共催） 開催日 令和5年2月11日（土） 場 所 七宝焼アートヴィレッジ 交流ホール 内 容 巨大地震！その時の行動と今日からの備え 講 師 荒木 裕子（京都府立大学） 参 加 47人 ・家事等実践講座 開催日 令和4年10月1日（土） 場 所 美和公民館 調理室 内 容 防災クッキング（バッククッキング） 講 師 あま市女性消防クラブ 参 加 24人 ・「相互支援ネット」（災害時における男女共同参画センター等の相互支援ネットワーク）で情報共有		継続						
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
県共催セミナー：防災の専門家である講師、安全安心課職員、男女共同参画担当職員（県・市）で連携して運営した。市民が巨大地震に備えるテーマに取り組み、男女ともに交流できた。 家事等実践講座：食をきっかけに女性が防災に関わる機会が提供できた。											
【参考指標】			【予算／実績】								
① 啓発活動の取組数			啓発活動にかかる報償費等								
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	3					予算（千円）	74	0			
②						実績（千円）	66				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。					○						
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					○						
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					○						
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。					○						
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					○						
					5点						

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	172	事業名	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進	担当課	人権推進課
プランにおける 位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進		基本方針11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進		
	施策④防災分野における男女共同参画の推進				
施策概要	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発や、連携体制をつくる。				
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	176	事業名	女性に対する暴力をなくす運動期間について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施					担当課	人権推進課		
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり					基本方針12 暴力の根絶に向けた意識啓発					
施策概要	女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施する。										
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績					④方針
<ul style="list-style-type: none"> 女性に対する暴力をなくす運動期間 広報掲載 女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展 リバーサイドガーデンパープルライトアップ 				A:8割以上		<ul style="list-style-type: none"> 女性に対する暴力をなくす運動期間 広報掲載 女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展 開催日 令和4年11月11日(金)～11月25日(金) 場 所 甚目寺庁舎 1階ロビー 内 容 これって、性暴力？ リバーサイドガーデンパープルライトアップ 開催日 令和4年11月11日(金)～11月25日(金) 場 所 リバーサイドガーデン内ガーデンブリッジ 周知媒体：市公式ウェブサイト、10月号広報あま、市政情報メール、市公式LINE、市公式Instagram					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
パネル展：来客の多い場所で展示をして多くの市民に観覧してもらえた。初めてアンケートを設けたが、得られた回答は1件だった。アンケートの指摘をもとに展示環境を改善した。令和5年度以降、分庁舎が統合されることもあり、効果的に啓発する方法を工夫する必要がある。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 市公式SNSの反応数						啓発活動にかかる消耗品費等					
② 催事に参加した市民の満足度（アンケート結果）の平均点											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	1,663					予算（千円）	0	0			
②	20点					実績（千円）	0				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											○
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	184	事業名	地域防犯灯の設置支援					担当課	危機管理課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり					基本方針13 犯罪防止に配慮した環境整備						
施策概要	施策④地域における防犯対策の推進											
施策概要	区等が設置する防犯灯に対し、その設置費用の一部を補助し、防犯灯の設置を促す。また、寿命が長く電気料金も定額となるLED防犯灯の普及を推進、区等の維持管理に関する負担を軽減する。											
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績					④方針	
区等に対し防犯灯設置費用を補助する。 計400灯 従来型防犯灯（蛍光灯等） LED防犯灯（新設または省エネルギー化のための交換） LED防犯灯（老朽化による交換）				B:4～7割		区等に対し防犯灯設置費用を補助した。 計251灯 従来型防犯灯（蛍光灯等） 補助率1/2 13千円/灯まで補助 LED防犯灯（新設または省エネルギー化のための交換） 補助率2/3 40千円まで補助 LED防犯灯（老朽化による交換） 補助率1/2 13千円まで補助					継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 区管理の防犯灯のLED化率						防犯灯設置費補助金						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	80.8%					予算（千円）	8,400	8,400				
②						実績（千円）	5,326					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。												
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。												
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○	
											1点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	197	事業名	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）の実施					担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり					基本方針13 犯罪防止に配慮した環境整備						
施策概要	施策④相談・支援体制の充実と周知											
施策概要	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問をの実施する。											
【1】事業実績評価 ① 4年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 5年度計画方針												
① 計画				② 達成度		③ 実績					④ 方針	
<p>出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待予防の早期発見と未然防止につなげるため、こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）を実施する。</p>				A:8割以上		<p>こんにちは赤ちゃん訪問事業について、令和4年度の対象者570人のうち、569件（内、委託63件）実施。 また、他市町村の依頼によりあま市に里帰りしている市外在住の母子について、11件こんにちは赤ちゃん訪問を実施した。 訪問時、産婦に児童虐待防止リーフレット（愛知県発行）を配布し、虐待予防について説明した。</p>					継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】												
こんにちは赤ちゃん訪問実施件数						【予算／実績】						
②						委託料						
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	569件					予算（千円）	640	564				
②						実績（千円）	312					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											○	
3点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	198	事業名	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催					担当課	健康推進課				
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり					基本方針14 被害者の実情に応じた切れ目のない支援体制の充実 施策④相談・支援体制の充実と周知							
施策概要	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会を開催する。												
【1】事業実績評価 ①4年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④5年度計画方針													
①計画				②達成度		③実績					④方針		
・利用者支援事業（母子保健型） 妊娠・出産期に支援の必要な方に対し、支援プランを作成するために要支援検討会を開催し、妊娠中からの継続支援を実施する。 要支援検討会 年15回開催				A:8割以上		要支援検討会を計15回開催した。健康推進課職員と子育て支援課職員が参加し、必要時は他課とも連携しながら必要な支援体制を検討、実施した。					継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）													
【参考指標】						【予算／実績】							
① 要支援検討会の開催回数						専任コーディネーター、アドバイザー費用							
②													
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
①	15回					予算（千円）	3,603	3,614					
②						実績（千円）	3,543						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）													
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○			
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○			
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。													
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○			
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○			
4点													
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント													